

みなさんの思いを聴いて、届けたい人に届ける 「子どもアドボカシー」を知っていますか。



「子どもアドボカシー」って？

アドボカシーとは、人の気持ちや意見を聴き、権利を守る活動のことです。中でも子どもの思いをしっかり聴いて、届けたい人にその思いを届け、気持ちや意見の実現のために支援するのが「子どもアドボカシー」です。

「子どもアドボカシー」の担い手は誰？

『自分の気持ちや意見を、自ら相手に伝えること』をセルフアドボカシーと言います。セルフアドボカシーが難しいときは、多くの方があなたを支えてくれます。

あなたの思いを聴き、実現をめざして支援する「子どもアドボカシー」の担い手は4つに分類されます。



子どもの意見を尊重する「子どもアドボカシー」の担い手

フォーマルアドボカシー

学校の先生やスクールカウンセラー、部活動の指導者などが子どもを支援すること。

インフォーマルアドボカシー

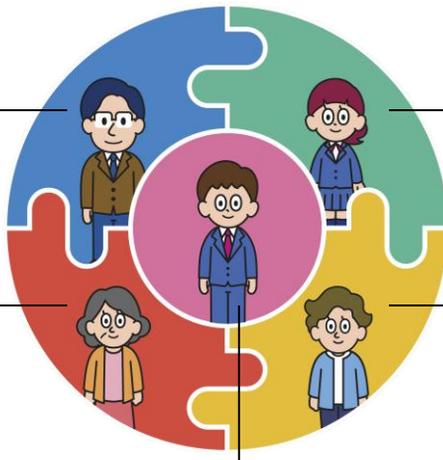
お母さんやお父さん、親戚や近所の親しい人などが子どもをサポートすること。

ピアアドボカシー

友だちや同じ経験をした人たちなどが、子どもに助言したり、大人につないだりすること。

独立アドボカシー

子どもの立場に立って思いや意見を聴き、子どもが望む方法で必要な支援につなぐこと。



セルフアドボカシー

自分の気持ちや意見を、自ら相手に伝えること。

もっと知りたいあなたへ。

Q アドボカシーの専門家「独立アドボケイト」とは、どのような人なの？

- A
- 相談者の立場に立って、気持ちや意見を丁寧に聴き、実現できるように支援する人で、アドボカシーを実践する専門家を「独立アドボケイト」と言います。「独立」とは、学校や保護者など誰とも関わりのない（利害関係のない）人という意味です。
 - 「独立アドボケイト」は、相談者の思いを聴き、相談者がどうしたいのかを大切にしながら、どのように伝えれば良いかを一緒に考えます。相談者の希望に沿って伝えたい人に代弁することもあります。
 - 相談者から聴いたことは秘密にします。
 - 相談者自身やまわりの人の命に関わったり、心やからだを傷つけたりしていると判断したら、聴いた内容を必要な人に話すことがあります。その場合は、相談者にこのことを伝えます。

独立アドボケイトについて詳しく知りたい人、独立アドボケイトに相談したい人は、学校の先生に「アドボケイトについて知りたい」「アドボケイトと話がしたい」と伝えてください。